

公益社団法人 日本材料学会
腐食防食部門委員会 第370回例会

日 時：2027年1月29日(金) 12:45～16:30

場 所：大阪府教育会館 たかつガーデン 地下1階 オリーブ

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7番11号 TEL: 06-6768-3911

(近鉄「大阪上本町」駅から徒歩約5分、Osaka Metro 谷町線「谷町九丁目」
駅から徒歩 約8分。 <https://www.takatsu.or.jp/access>)

腐食防食部門委員会の法人委員・個人委員はオンラインでの視聴も可能とします。

主題「液体アンモニア環境下での鋼材の応力腐食割れ」

液体アンモニアは燃焼時に二酸化炭素を排出しない燃料として近年、注目されている。アンモニア燃料の利用拡大によって貯蔵設備の大型化が必要とされることから、高強度かつ耐 SCC 性にも優れた鉄鋼材料が求められるようになり、SCC の評価手法、発生機構、防止策への関心が 高まっている。本例会では、液体アンモニア環境下における SCC に関する研究分野において第一線で活躍されている 4 名の講師をお招きし、最新動向および評価法についてご講演いただき、同環境下での SCC 現象とその評価法への理解を深めるとともに、アンモニアサプライチェーンの安全性・信頼性向上を考える機会としたい。

— プログラム —

Business Meeting

12:45～13:00

(司会 榊原洋平 (株)IHI)

1. 鋼材のアンモニア SCC に関する先行研究レビューと日本海事協会の取り組み

13:00～13:50

柳本史教 日本海事協会

2. 無水液体アンモニア環境における SCC 発生・進展特性のラボ加速評価 13:50～14:40

萱森陽一 日本製鉄(株)

休 憩

14:40～14:50

(司会 徳岡聡 出光興産(株))

3. アンモニア環境中での材料評価(仮)

14:50～15:20

野口優也 (株)コベルコ科研

4. 表層軟質クラッド鋼板を実適用した液体アンモニアタンクの 30 年間の耐 SCC 性

15:20～16:00

塩谷和彦 JFE スチール(株)

(協賛予定) 安全工学会、化学工学会、火力原子力発電技術協会、近畿化学協会、軽金属学会、ステンレス協会、電気化学会、日本化学会、日本機械学会、日本金属学会、日本原子力学会、日本鋼構造協会、日本材料科学会、日本伸銅協会、日本船舶海洋工学会、日本鑄造工学会、日本鉄鋼協会、日本電子材料技術協会、日本バイオマテリアル学会、日本非破壊検査協会、日本表面真空学会、日本プラントメンテナンス協会、日本分析化学会、日本防錆技術協会、日本保全学会、日本溶射学会、日本溶接協会、表面技術協会、腐食防食学会、溶接学会

腐食防食部門委員会委員以外の方は、参加費を戴きます。

日本材料学会・協賛学会会員：5,000 円、その他非会員：10,000 円。

【申込先】〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101 公益社団法人日本材料学会
e-mail : jimu@office.jsms.jp